

**平成 30 年度 物質・デバイス領域共同研究拠点  
“人・環境と物質をつなぐイノベーション創出ダイナミック・アライアンス”**

**共同研究課題「産研 CORE ラボ」 募集要項**

この度、物質・デバイス領域共同研究拠点ナノ・サイエンスデバイス領域（大阪大学産業科学研究所）にて下記のとおり平成 30 年度共同研究課題「CORE ラボ」の募集を行います。

受入領域	ナノ・サイエンスデバイス領域（大阪大学産業科学研究所）
募集タイプ	アライアンス型（ハイブリッド型含む）または 拠点型
募集件数	2 件
研究代表者要件 (PI)	5 研究所（電子研、多元研、化生研、産研、先導研）に所属する若手教員（准教授・助教。特任も含む） または 拠点活動を実施している外部機関に所属する若手教員（同上）
参加者要件 (共同研究員・ 支援員)	1. アライアンスまたは拠点共同研究を遂行している産研の教員（受入教員）。 2. PI 所属以外のアライアンス研究を遂行する研究所の教員 3. 拠点共同研究参加者 4. 技術支援員（CORE ラボ経費での雇用を可とする） 5. その他必要と認められる研究者  注：1 および 2 は必須。  院生も可。
研究内容	物質・デバイス領域共同研究拠点を構成する 5 研究所におけるネットワークの特性を活かし、先端的・学際的・分野横断的で組織的な共同研究を濃密にかつ動的に実施することで、顕著な成果や飛躍的な研究発展を実現し、イノベーションの創出へと展開できる研究テーマであって、「物質・デバイス領域共同研究拠点」事業、もしくは「人・環境と物質をつなぐイノベーション創出ダイナミック・アライアンス」プロジェクトの趣意に合致した実践的共同研究内容であること。 上記の実践を持って事業および産研の発展に寄与できる研究であること。
研究期間	2 年間（平成 32 年 3 月末迄。但し 2 年度目には継続申請書類の提出）。 但し研究成果によっては 1 年度または 2 年度の延長を認める（委員会で審査）。
応募方法	大阪大学産業科学研究所所属の受入教員による推薦制と致します。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申請者は申請書に必要事項を記載の上、産研の受入教員へ送付してください。 (メール送信で結構です)</li> <li>・受入教員は申請内容を確認後、アライアンス事業本部(産業科学研究所事務部・財務係: <a href="mailto:njrc@sanken.osaka-u.ac.jp">njrc@sanken.osaka-u.ac.jp</a>)宛に申請書をメールにて送付し応募してください。</li> </ul>
募集期間	平成30年2月19日(月曜日)17時必着
選考方法	産研アライアンス委員会委員(必要に応じて所内よりオブザーバーを追加)による書類審査。必要に応じてヒアリングを実施。
選考の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アライアンス共同研究、拠点共同研究参加実績(年度、概要、成果)</li> <li>・研究業績(原著論文、総説・解説、国際会議発表、ポスターセッション、特許)</li> <li>・研究目的および計画(準備状況、新規性、革新性、必要性、計画の妥当性、所外メンバーの来所計画*)</li> <li>・研究チーム(構成、役割分担)の妥当性</li> <li>・期待される成果(学術的、アライアンス/拠点活動上)</li> </ul> <p>選考は上記項目毎に採点の上、総合的に判断する。</p> <p>*PI(所外)は年度内に延べ60日以上ラボ滞在が望まれる。但しPIが所内の場合は年度内に参加メンバーの延べ60人日以上ラボ滞在が望まれる。</p>

#### 実施中および実施後に求められる事項

成果の公表等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共著による成果公表(論文、学会、ホームページ等(所属機関HP、COREラボHP、拠点・アライアンスHPを含む))、特に共著論文発表、を行うこと。(論文等への謝辞記載を必須とする)</li> <li>・アライアンスの各種行事(成果報告会、グループ分科会、若手研究会など)や拠点共同研究行事(成果報告会など)への積極的な参加・成果発表。</li> <li>・産研にて実施している定例記者会見等でのプレスリリース。</li> <li>・年度毎の成果報告書の提出。</li> <li>・活動内容/成果の積極的な公知 (HPの準備、拠点アライアンスHPへの成果公表等)</li> </ul>
--------	--

評価（継続審査）の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究成果（新規性、革新性、顕著性）</li> <li>・ 研究業績（原著論文、国際会議発表、プロシーディングス、特許等）</li> <li>・ 活動実績（ラボ滞在日数、分科会等への参加、プレスリリース等）</li> <li>・ その他（受賞、昇任等）</li> </ul>
-------------	---

実施後の待遇処置など

貸与研究室	最大2室（2スパン。50 m <sup>2</sup> 以上）を措置する。
研究費	150万円以上（平成30年度予定。但し状況に応じて変更の場合もあり）
その他	PI（所外）および参加メンバーには称号付与も可。 外部資金獲得はこれを積極的に推奨する。

問い合わせ先：

アライアンス事業本部

産業科学研究所事務部・財務係

TEL：06-6879-4300 / E-mail：njrc@sanken.osaka-u.ac.jp

産研アライアンス委員長 関野 徹

産業科学研究所 先端ハード材料研究分野

TEL：06-6879-8435 / E-mail：sekino@sanken.osaka-u.ac.jp